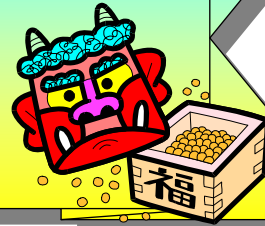


衛生研究所 情報広場

~infosquare~

第30号 2011年2月



* 仙台市衛生研究所ホームページ: <http://www.city.sendai.jp/shisetsu/hokenfukushi/eisei/1577.html>

今回は2010年の仙台市の 感染症発生状況についての速報です。

感染症発生動向調査とは、感染症の予防と蔓延防止に役立てるため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、感染症法)に基づき、定められた感染症について、診断した医師からの報告をもとに、感染症の発生状況を調査し、分析・公表するものです。

感染症法では、対象となる感染症を感染力や罹患した場合の重篤性等により一類～五類、新型インフルエンザ等感染症に類型化し、診断した医師に届出を行うよう規定しています。なお、一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症は**全数報告対象感染症**^{※1}に分類されており、それ以外の五類感染症は**定点報告対象感染症**^{※2}に分類されています。

仙台市衛生研究所では、医療機関から保健所を通して報告のあった感染症情報のとりまとめを行い、週1回(対象疾患によっては月1回)、**仙台市感染症発生動向調査情報**としてウェブサイトなどで公開しています。

それらをもとに、今回は2010年の仙台市の状況についてまとめました。

※本データは速報値です。追加報告等により修正される可能性があることを御承知おきください。

※1 全数報告対象感染症: 診断したすべての医師に報告が義務づけられている感染症。

※2 定点報告対象感染症: あらかじめ定点として指定された医療機関に報告が義務づけられている感染症。
決められた期間中(1週間又は1ヶ月)に診断された患者数を報告する。

コラム: **チクングニア熱・薬剤耐性アシネトバクター感染症**が新たに報告対象感染症に指定されました

平成23年1月14日付で、**チクングニア熱**を四類感染症に、**薬剤耐性アシネトバクター感染症**を五類定点報告対象感染症に指定する通知が厚生労働省より出されました。

チクングニア熱は、蚊が媒介して感染するウイルス性の疾病で、近年、東南アジア地域で感染が広がり、流行地からの帰国者の症例が増加傾向にあります(2006～2008年の帰国者症例は0～3人。2009年は10人に増加)。

これまでのところ、国内での発生は認められていませんが、ウイルスを媒介する蚊(ヒトスジシマカ)は東北以南の広い地域に分布しており、輸入症例をきっかけにした国内での流行が心配されています。

薬剤耐性アシネトバクター感染症は、複数の抗生物質に耐性を示すアシネトバクター属菌の感染症で、毒性は弱いですが、抵抗力の落ちた人に感染することがあり、医療機関での院内感染の原因になっています。
世界で本菌による院内感染事例が増加してきており、日本でも広がりが心配されています。

このような理由から、発生動向をつかみ対策に役立てるため、報告対象に追加されたものです。



全国の情報はこちら→国立感染症研究所 感染症情報センター <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

1. 全数報告対象感染症

2010年に診断・報告された全数報告対象感染症を表1にまとめました。

表1 2010年全数報告対象感染症発生状況(仙台市)

類	疾病名	報告数	推定感染地域
二類	結核	165	国内160例, 中国5例
三類	細菌性赤痢	3	国内3例
	腸管出血性大腸菌感染症	36	国内35例, 韓国1例
四類	A型肝炎	4	国内4例
	デング熱	2	インド2例
	マラリア	1	コンゴ1例
	レジオネラ症	8	国内8例
五類	アメーバ赤痢	10	国内8例, グアム1例, 不明1例
	ウイルス性肝炎	2	国内2例
	急性脳炎	2	国内2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	(届出対象外)
	後天性免疫不全症候群	10	国内8例, 米国1例, 不明1例
	髄膜炎菌性髄膜炎	1	国内1例
	梅毒	11	国内11例
	破傷風	1	国内1例
	麻しん	2	国内2例

2010年は、例年同様結核、腸管出血性大腸菌感染症、レジオネラ症、アメーバ赤痢、後天性免疫不全症候群、梅毒の報告数が多くありました。

推定感染地域が海外の症例は11例あり、デング熱・マラリアといった熱帯・亜熱帯地域の疾患の報告もありました。

また、感染原因として性的接触が疑われるものは19件でした。(アメーバ赤痢10件中2件、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)2件中1件、後天性免疫不全症候群10件中8件、梅毒11件中8件)

2. 定点報告対象感染症

2010年に診断・報告された定点報告対象感染症について以下にまとめました。

※2010年 仙台市内定点医療機関の内訳

小児科定点 26 インフルエンザ定点 42(内科定点 16+小児科定点 26)

眼科定点 6 性感染症定点(婦人科, 泌尿器科, 皮膚科)8

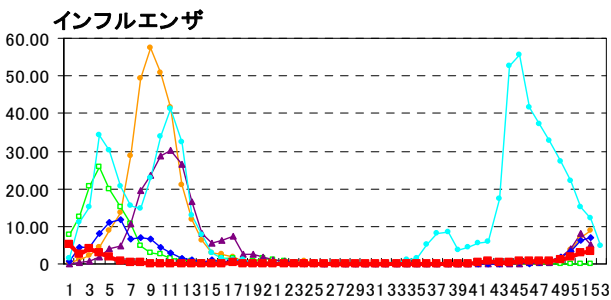
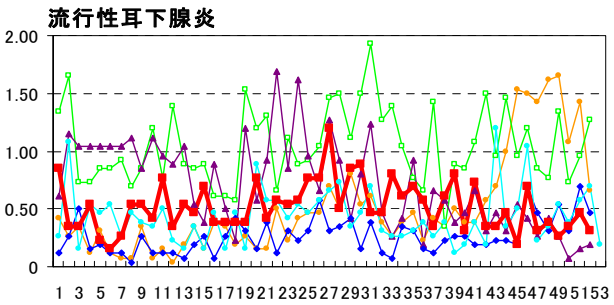
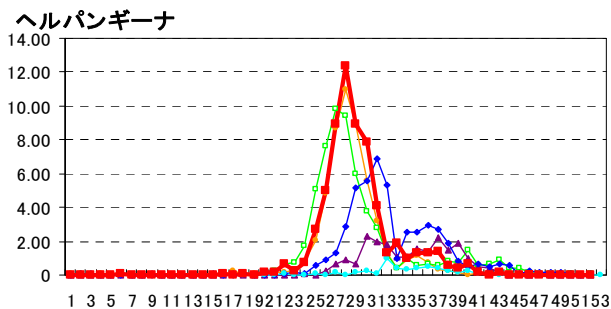
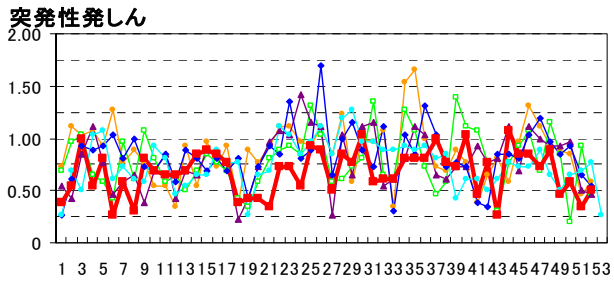
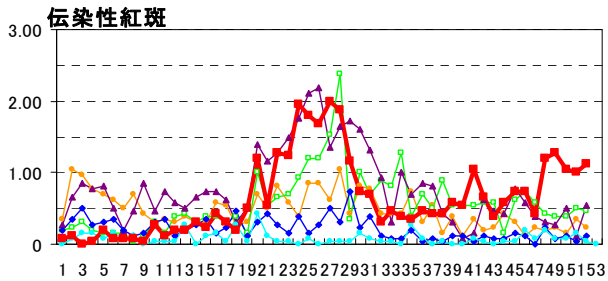
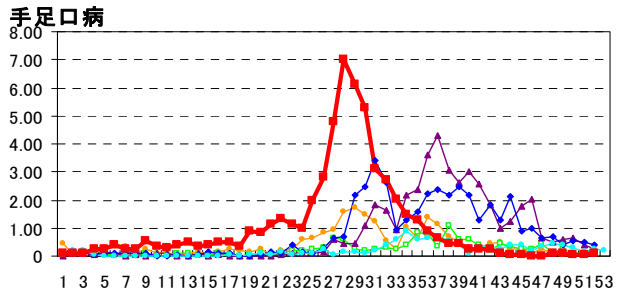
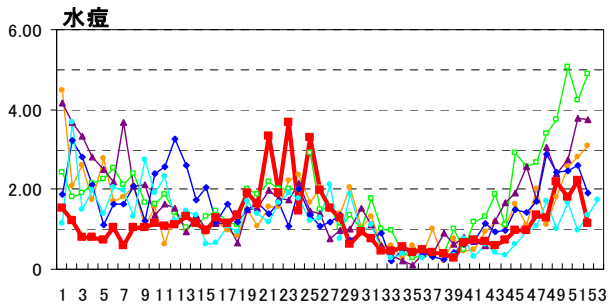
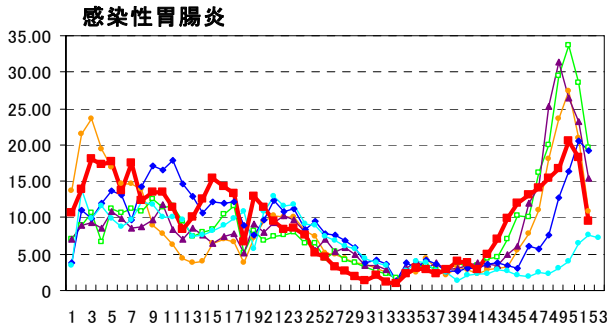
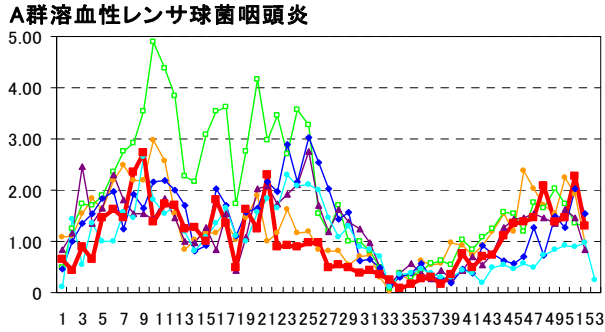
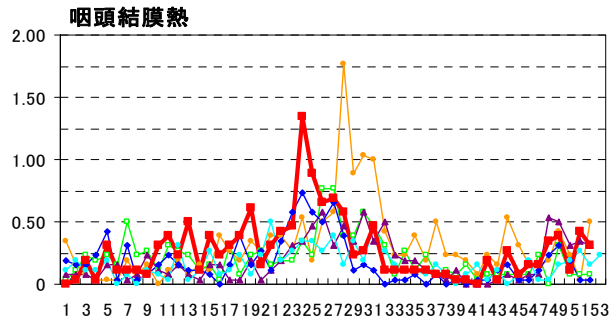
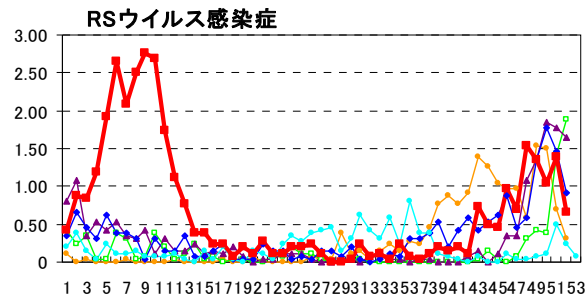
基幹定点(病床数 300以上の小児科, 内科及び外科を含む病院)5



2010年の週報告対象感染症についてみると、RSウイルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナで、流行期における発生が例年よりも多い傾向でした。またインフルエンザの流行期における発生が例年よりも少ない傾向でした。(グラフ1)

また、月報告対象性感染症では、例年同様20代前後の若年層に患者報告数が多い傾向がみられました。(グラフ2)

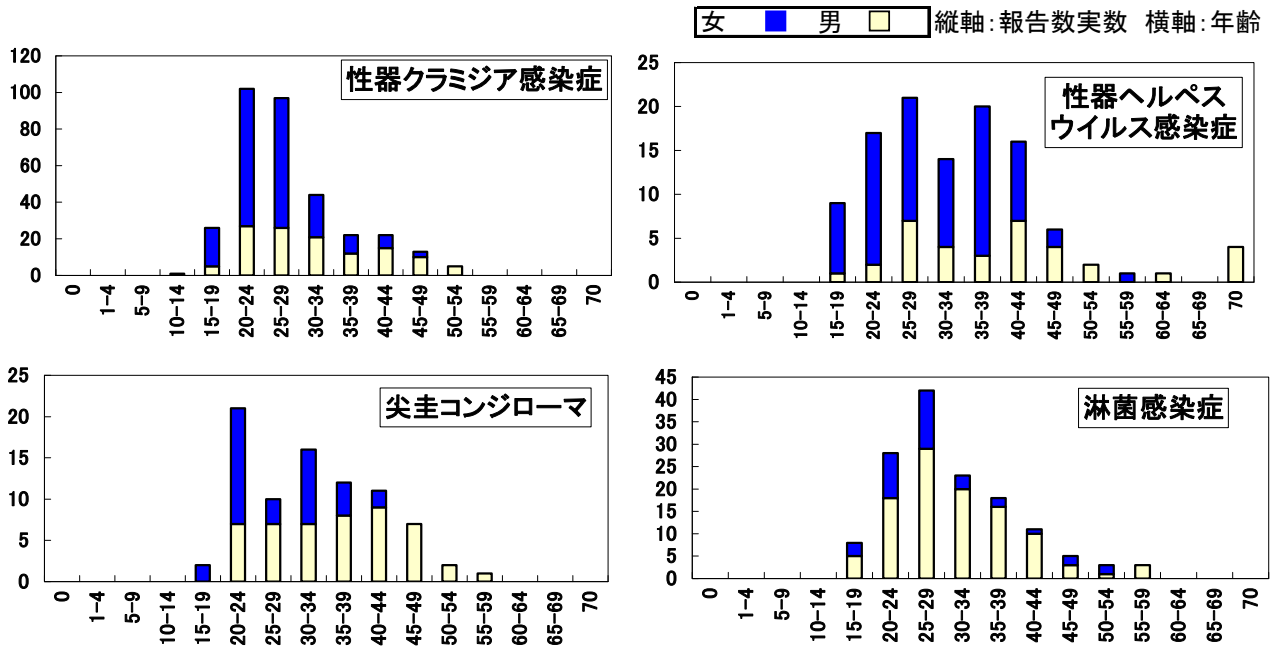
グラフ1 主な週報告対象感染症の発生状況（仙台市，2005-2010年）



※定点当たり報告数とは：
報告数の合計を、定点としてあらかじめ
指定された医療機関の数で割った、1医
療機関当たりの数のことを指します。
たとえば全体の報告数が20で、
定点医療機関の数が5の場合、 $20 \div 5$
=4で定点当たり報告数は4となります。

* 縦軸：定点当たり報告数 横軸：診断週

グラフ2 定点報告対象性感染症 年齢階級別報告数(実数) (仙台市, 2010年)



※※※※※※※※※※※※※※注目情報※※※※※※※※※※※※※※

《HIV 抗体検査／クラミジア抗原検査日程表》無料・匿名で受けられます！

検査会場	検査日	受付時間	問い合わせ・相談	結果通知	予約
宮城県歯科医師会館1F (青葉区国分町1-5-1)	第2・4金曜日【夜間】	17:00~19:00	【予約専用】 090-4478-4641 電話受付時間 平日13時~16時	即日	要予約
青葉区役所 2F	第3土曜日【休日】 ※12月は未定	13:30~15:30			
	第1木曜日【夜間】 【クラミジア検査可】	17:30~19:00	225-7211(管理課 内線6715)	1週間後	予約不要
	毎週金曜日	9:00~11:00			
第1金曜日【英語可】					
宮城野区役所3F	第1・3木曜日	9:00~10:30	291-2111(管理課 内線6717)		
若林区役所3F	第2・4水曜日	9:00~10:00	282-1111(管理課 内線6715)		
太白区役所3F	第2・4火曜日	13:30~15:00	247-1111(管理課 内線6715)		
泉区役所東庁舎2F	第1・3月曜日	9:00~10:30	372-3111(管理課 内線6716)		

※青葉保健所の夜間検査では、HIV検査と同時にクラミジア検査もできます。

※祝祭日、年末年始は実施しません。

詳しい情報はこちら↓

「仙台市 エイズの相談・抗体検査」 http://www.city.sendai.jp/kenko/1190058_2485.html

今回の担当: 仙台市衛生研究所 微生物課企画調整係 矢崎
仙台市衛生研究所: 〒984-0002 若林区卸町東 2-5-10 TEL:022-236-7722

